

これだけは知っておこう

STD

(Sexually Transmitted Diseases)

クラミジア感染症

監修：愛知医科大学産婦人科教授 野口昌良 先生



生活の中にひそかに蔓延するクラミジア感染症。不妊症や母子感染の重要な原因にもなります。

①-1 症状がなくても、気になったら、できるだけ早く検査を受けましょう。

① クラミジア感染症は、外来で簡単に検査できます。



クラミジアに感染しているかどうかは、外来で子宮の分泌物や血液、尿を採取することで、簡単に検査することができます。

② 薬を服用するだけで、治療できます。



もし、クラミジア感染症と診断されても、クラミジアによく効く抗菌薬(飲み薬)がありますので、外来で治療することができます。医師の指示に従い、安心して治療を受けてください。

③ きちんと治っているか必ず確認してください。



治療中は、医師の指示に従って再受診し、きちんと治るまで治療を中断しないでください。性感染症の原因はクラミジア以外にもありますので、気になる症状があるときは、他の感染症を合併していないか、十分検査を受けてください。

④ パートナーの治療も必要です。



クラミジアは性行為で感染しますから、パートナーの治療もとても大切です。パートナーも早めに検査を受け、治療が必要な場合は、一緒に治療を受けるようにしてください。

女性に多いクラミジアによる性感染症

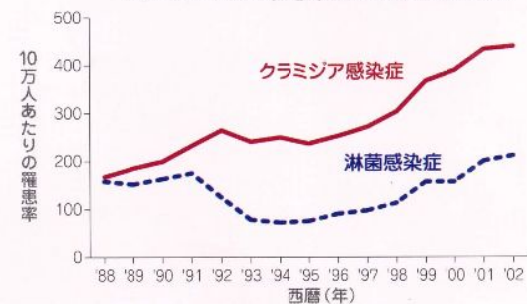
症状に乏しく、気がつかないうちに広がる……

性行為でうつる感染症(性感染症)は、昔は「性病」といわれ、特殊な環境でのみかかる男性に多い疾患と考えられていました。

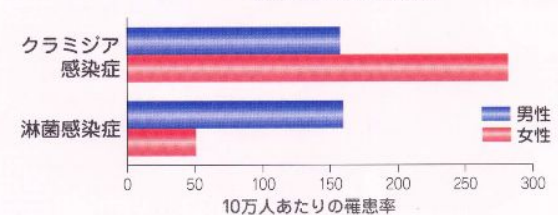
しかし、最近では、性行為でうつる病原微生物の種類が増え、その多くが自覚症状に乏しく、気がつかないままパートナーにうつして広がり、日常の性生活のなかにも入り込んでくるようになりました。

この性感染症のなかで最も頻度が高いのが「クラミジア」(正式には、トラコーマ・クラミジア)による感染です。代表的な性感染症である淋菌感染症に比べて女性に多く、年々増加しています。

クラミジアによる性感染症の増加(男女合計)



男女別にみた発症率



性感染症サーベイランス2002;熊本県明ほか・日性感染症会誌, 15(1), 17, 2004

② クラミジアによる性感染症は、なぜ恐いのでしょうか？

◆症状がでにくい、気がつかないうちに進行

クラミジアによる性感染症は、男性ではまず尿道炎、女性では子宮頸管炎として起こります。感染初期にはっきりした自覚症状がないことが特徴ですが、男性の場合は2～3週間すると、排尿時に不快感や痛みを感じたり、尿道からの分泌物の色や性状が変わるなど、症状が出やすいので、比較的発見しやすいとされています。しかし、女性では半数以上が自覚症状がないまま経過し、気がつかないうちに病状が進行したり、パートナーに感染したりすることから注意が必要となります。

◆治療しないで放置しておくと、不妊症や母子感染の原因に

クラミジアによる性感染症を治療しないで放置しておくと、子宮から卵管を通して腹腔内に広がり、激しい下腹痛(急性腹症)を起こすことがあります。また、子宮と卵管のまわりが癒着したり、卵管の組織が変化して不妊症になることがあります。妊婦の場合には、まれに流産の原因になります。さらに、出産するときに、産道で新生児にクラミジアが感染して(母子感染)、結膜炎や肺炎を高頻度に引き起こします。このような状況に至らないために、早期に検査を受け、できるだけ早く適切な治療を受けることが大切です。

性器でのクラミジアの感染経路

性器にクラミジア感染症のある母親から生まれた新生児の50～75%が分娩時に産道等でクラミジアに感染し、結膜炎や肺炎が起こります。

出産による
産道感染
母子感染

卵管
卵巣
子宮
子宮頸管

*子宮付属器：卵巣と卵管を総称した名前

腹腔内感染 → 急性腹症
子宮と卵管のまわりの癒着や卵管の組織変化 → 不妊症
子宮付属器炎*
子宮内膜炎
子宮頸管炎

●性器のクラミジア感染症(男性)の主な症状
・排尿時の痛み
・尿道からの分泌物
・睾丸の腫れ、痛み

●性器のクラミジア感染症(女性)の主な症状

・おりもの増加
・性交痛
・下腹痛
・内診のときの痛み

★まったく症状のないものが多い

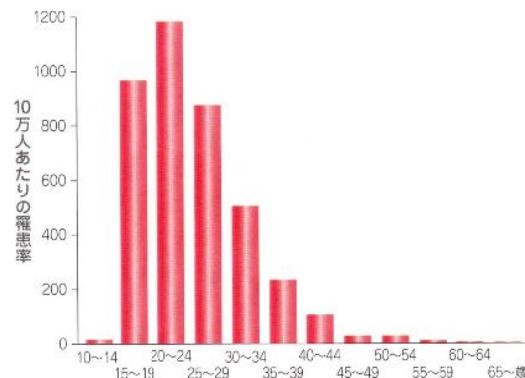
性行為による感染

性器にクラミジア感染症のあるパートナーと性行為することで、クラミジアがうつります。

男性

クラミジア性尿道炎
副睾丸炎

③ 性器クラミジア感染症の年齢別の発症頻度(女性)



(性感染症サーベイランス2002:熊本県明ほか・日性感染症会誌, 15(1), 17, 2004)

★次のようなときは、進んで検査を受けるようにしてください。

女性の場合――

- おりものが増えたり、色が変わるなどの変化があった
- 性交痛や下腹痛がある

男性の場合――

- 排尿するときに痛みがはしる、尿道から分泌物が出る
- 睾丸が腫れて、痛い

★クラミジア感染症は簡単に検査することができます。お気軽にご相談ください。

病医院名

提供 アボット ジャパン株式会社
企画・制作 リノ・メディカル株式会社

2004年10月作成

性生活中で ひそかに蔓延するクラミジア感染症

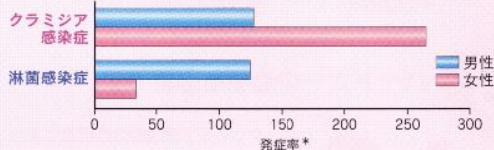
すべての性感染症のなかで最も多い
「女性の性器クラミジア感染症」

性行為によってうつる感染症(性感染症)は、昔は「性病」といわれ、特殊な環境でのみかかる、男性に多い疾患であると考えられていました。
しかし、最近では、性行為によってうつる病原微生物の種類が変化し、その多くがほとんど症状がないために気がつかないまま、パートナーにうつして広がり、日常の性生活のなかにも入り込んでくるようになりました。この性感染症のなかで最も頻度が高いのが「クラミジア」(正式な名称は、クラミジア・トラコマティス)と呼ばれる微生物です。クラミジアによる性感染症は、代表的な性感染症である淋菌感染症に比べて圧倒的に女性に多く、年々増加していることが問題になっています。

クラミジアによる性感染症の増加(男女合計)



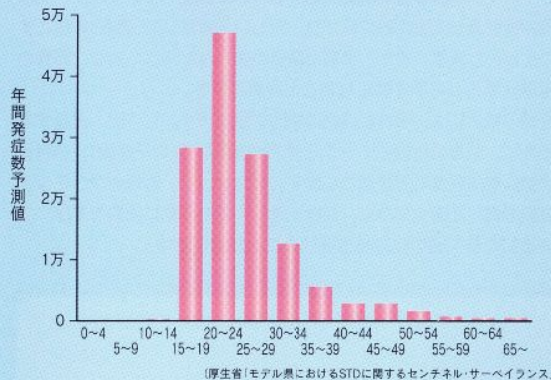
男女別にみた発症率



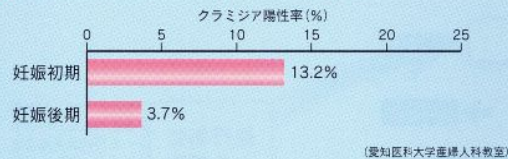
*10万人あたりの患者数
(厚生省「モデル県におけるSTDに関するセンチネル・サーベイランス」
研究の実態調査、2000年より)

10歳代後半から30歳代前半に多い 女性の性器クラミジア感染症

●性器クラミジア感染症の年齢別発症頻度(女性の全国予測値)



●妊婦からも4~10%の割合で検出されています。



★クラミジア感染症は簡単に検査することができます。
お気軽にご相談ください。

病(医)院名

提供：アボット ジャパン株式会社

健やかな性生活と健やかなお産のために

これだけは知っておこう

クラミジア感染症

監修：愛知医科大学産婦人科教授 野口昌良



クラミジア感染は不妊症や母子感染
の原因として重要です。

クラミジアによる性感染症はどうして恐いのでしょうか？

◎症状がでにくいいため、気がつかないうちに進行

クラミジアによる性感染症は、男性ではまず尿道炎、女性では子宮頸管炎として起こります。

感染初期にははっきりした自覚症状がないことが特徴ですが、男性の場合は、2～3週間すると、排尿時に不快感や痛みを感じたり、尿道の分泌物の色や性状が変わるなど、症状が出やすいので、比較的発見しやすいといえます。

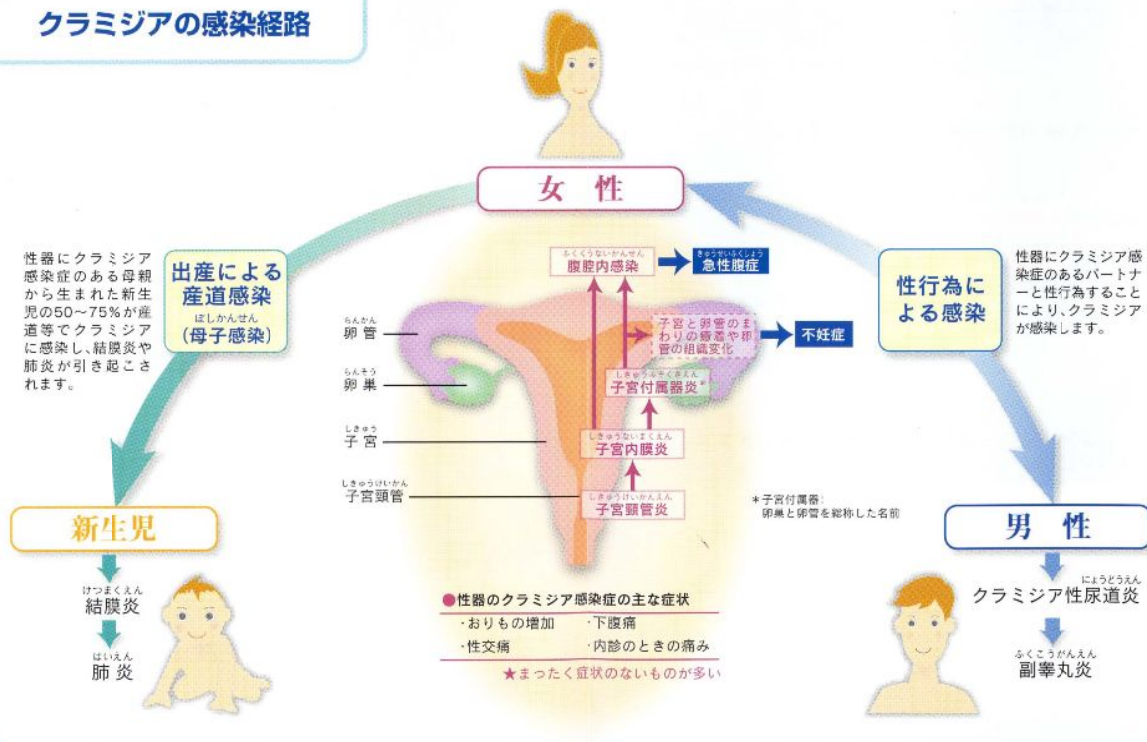
しかし、女性の場合は、半数以上が自覚症状がないまま経過し、気がつかないうちに病状が進行したり、パートナーに感染したりしますから、特に注意が必要です。

◎治療しないで放置しておくと、不妊症や母子感染の原因に

クラミジアによる性感染症を治療しないで放置しておくと、子宮から卵管を通して腹腔内に広がり、激しい下腹痛(急性腹症)を起こすことがあります。また、子宮と卵管のまわりが癒着したり、卵管の組織が変化して不妊症になることがあります。

妊婦の場合には、まれに流産の原因になります。さらに、出産するときに、産道で新生児にクラミジアが感染して(母子感染)、結膜炎や肺炎を高頻度に引き起こします。したがって、性器のクラミジア感染の進行を防ぐために、症状が乏しくても早期に検査を受け、できるだけ早く適切な治療を受けることが大切です。

クラミジアの感染経路



症状がなくても、気になったら、できるだけ早く検査を受けるようにしましょう。

1 クラミジア感染症は、簡単に検査することができます。



クラミジアに感染しているかどうかは、外来で子宮の分泌物や血液を採取することにより、簡単に検査することができます。おりものが増えたり、色が変わるなどの変化があったとき、結婚や妊娠の予定があるときなどは、進んで検査を受けるようにしてください。クラミジア感染症は、10歳代後半から30歳代前半の女性に多く発症していますので、ティーンエイジャーであっても検査を受けることが大切です(発症年齢については、この冊子の裏面をご覧ください)。

2 薬を服用するだけで、治療することができます。



もし、クラミジアに感染していると診断されても、クラミジアによく効く抗菌薬がありますので、薬を通常2週間ていど服用するだけで、治療することができます。医師の指示に従い、安心して治療を受けてください。

3 パートナーの治療も必要です。



クラミジア感染症は性行為によって感染しますから、パートナーの治療がとても大切になります。パートナーも早めに検査を受け、治療が必要な場合は、一緒に治療を受けるようにしてください。